

# 緑の地球ネットワーク 中国河北省 張家口 探鳥ツアー

2019年6月15日(土)～19日(水) 4泊5日



カササギ

## 【同行ガイド】

高田直俊先生（大阪市立大学名誉教授・  
淀川環境委員会委員）

大西敏一先生（バードコンサルタント。  
『日本の野鳥 650』平凡社創業 100  
周年記念出版の著者）

## ●旅行代金：207,000 円

国際航空運賃、空港使用料、国際観光旅客税、中国国内の交通費／食費／宿泊費を含みます。旅券取得の費用、海外旅行保険、燃油特別付加運賃、個人行動時の費用は含みません。GEN 年会費（一般＝12,000 円、学生＝3,000 円）が別途必要です。 ※関西空港発着（中国国際航空利用）、羽田空港発着（日本航空利用）

## ●定員：20 名程度（最少催行人員：6 名）

●添乗員は同行しません。GEN スタッフ 1 名が関西空港から同行します。

## ●申込締切：5 月 8 日（水）

※資料請求は緑の地球ネットワークまで、お名前・郵便番号・ご住所をお知らせください。

※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認の上お申込みください。

## 【見ることが期待できる鳥】

ミノキジ、シラコバト、カノコバト、ヒゲガラ、ダルマエナガ、カササギ、サンジャクなど。  
データの空白地帯なので、どんな鳥が見られるかよくわからないのが楽しみです。



■ツアーの活動内容についてのお問合せ・資料請求はこちらへ

認定 NPO 法人 緑の地球ネットワーク (GEN)

〒552-0012 大阪市港区市岡 1-5-24 小来田ビル 303

Tel. 06-6576-6181 Fax. 06-6576-6182 E-mail: gen@gen-tree.org URL <http://gen-tree.org>

■ツアー参加の申込みはこちらまで（資料の発送も担当します）

株式会社 マイチケット（エアワールド（株）代理店）担当：藤原

兵庫県知事登録旅行代理店業第 142 号（旅行業務取扱管理者 山田和生）

Tel. 06-4869-3444 Fax. 06-4869-5777 〒660-0084 尼崎市武庫川町 4 丁目 27-1

E-mail: [fujiiwara@myticket.jp](mailto:fujiiwara@myticket.jp) URL: <http://www.myticket.jp>

■旅行企画・実施

エアワールド株式会社

観光庁長官登録旅行業第 961 号

日本旅行業協会（JATA）会員

大阪市中央区内本町 2-2-14-207 号

【スケジュール】（変更になることがあります）

6月15日（土） 9時 関西空港発（CA162便。集合は2時間前）  
9時05分 羽田空港発（JL021便。集合は2時間前）  
12時 北京空港着 バスで張家口市蔚県へ。途中、官庁ダムで鳥の観察〈蔚県泊〉  
16日（日） 玉壺湿地公園で探鳥（希望者は蔚州博物館見学） 〈蔚県泊〉  
17日（月） 小五台山で探鳥 〈蔚県泊〉  
18日（火） 玉壺湿地公園で探鳥 〈蔚県泊〉  
19日（水） 朝バスで北京へ向かう  
16時25分 北京空港発（CA161便） 20時30分 関西空港着  
16時20分 北京空港発（JL022便） 20時55分 羽田空港着

【利用予定ホテル】

蔚州飯店または同等クラス

【食事】

朝食4回、昼食5回、夕食4回

●緑の地球ネットワーク（GEN）とは

緑の地球ネットワーク（GEN）は、1992年から中国の黄土高原で27年間緑化協力を続けています。大同は黄土高原の東北端、北京の西約300kmに位置し、砂漠化の最前線であり、また、風砂の源でもあります。年間降水量が約400mm、その大半が夏に集中し、表土を押し流して深刻な水土流失を引き起こします。

大同の人たちとともに25年をかけて5,900ha余りに1,890万本近くの木を植え、さらに中国が緑化に熱心に取り組んだこともあり、この数年大同では新しく植える場所を見つけるのが難しくなってきました。25年間積み重ねてきた経験が無駄にせず、生かせる場所をさがして、2017年、大同のすぐ東隣の張家口市蔚県で新しく緑化協力をはじめました。

蔚県では、従来の半乾燥地緑化に加えて、建設中の湿地公園の一画で樹木見本園をつくることになりました。蔚県では壺流河に沿って二つの湿地公園が建設されています。ひとつは蔚県壺流河国家湿地公園（1740ha、延長58km）。もうひとつ玉壺湿地公園（155ha）で、蔚州郷土樹木園（7.5ha）という樹木見本園を建設します。

湿地公園建設の重要な目的が鳥類、なかでも渡り鳥の保護です。蔚県は広大な乾燥地のなかにあり、このような湿地は特別な重要性をもちます。県政府の求めで2018年11月に最初の鳥類調査に取り組みました。



蔚県での植樹のようす（2018年スタディツアー）

今年には6月と10月の2回、実施することになっています。ここではこれまでに十分な調査がおこなわれたことがなく、データが不足しています。昨年11月の調査でも、現地のリストにない種がたくさんみつかりました。湿地公園の建設が鳥類保護にどのような効果をもたらすか、評価のための基礎を築く重要な第一歩になります。またこの活動によって、現地に鳥類の愛好者をふやしたいと考えています。

第1回の調査にあたってくださった高田直俊先生（大阪市立大学名誉教授・淀川環境委員会委員）、大西敏一先生（パードコンサルタント、『日本の鳥類650』平凡社創業100周年記念出版／著者）にひきつづきご参加いただき、データの充実をはかります。また、ミミキジの棲息地として知られる小五台山自然保護区にも足を伸ばすことにしています。

蔚県の湿地保全・鳥類保護の最初の一步を、ごいっしょに踏み出しませんか。

★関心をお持ちの方は、まず GEN 事務所までお気軽にお問い合わせください。連絡先はこの裏にあります。

黄土高原と蔚県の位置

